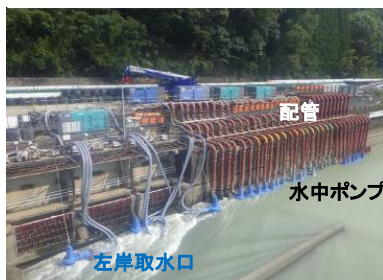


【工事】

事業名		八代平野農業水利事業	表彰の理由
工事名		遥拝頭首工応急対策工事	<p>本工事は、遥拝頭首工の改修工事において想定を超える河川の出水により仮締切工が被災し、頭首工からの取水が困難となったことから、緊急的に河川から直接取水を行うために、配管及び水中ポンプの設置並びに運転管理を行うものである。遥拝頭首工は農業用水のみならず、地域の重要な上水も取水しているため、断水は許されず、迅速な対応が求められた。</p> <p>施工にあたっては、緊急的に労務者および資機材を確保し、限られた短期間でポンプ設置（写真④）、配管作業（写真⑤）等を実施したことで、農業用水および上水の供給を可能とし、営農活動や水道・企業活動への影響を未然に防ぐことができた。</p> <p>また、県道（中津道八代線）を横断する際（写真⑥）には、ポンプ使用時の振動による鋼管のブレを防止するため、単管パイプを用いて鋼管を両側から固定する工夫（写真⑦）を施し、安定したポンプ取水が可能となるとともに、県道の通行にも支障をきたさないように配慮された。</p> <p>さらに、ポンプや配管材等の資機材を迅速かつ安全に荷下ろしする必要があったため、運搬車両荷台からの転落防止策として昇降階段を設置（写真⑧）するなど、細部にわたる安全対策にも努めた。</p> <p>本工事は、集落の主要道路を通行止めして行う必要があり、施工前に地元住民へ『工事のお知らせ』（写真⑨）を配布し、工事期間や通行止め・迂回路の周知を図ることで、地域住民の理解と協力を得ることができ、良好な関係を保ちながら工事を完遂した。</p> <p>以上のとおり、本工事はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるので、優良工事として表彰する。</p>
実施場所		熊本県八代市古麓町地内	
工事の概要			
受注者	アイサワ工業（株）九州支店		
契約額	1,452,990千円（税込）		
工 期	令和6年6月3日～令和7年3月14日		
工事概要			
<p>取水が困難となった遥拝頭首工の代替として、河川からの緊急・応急的な取水を行うために、配管および水中ポンプの設置ならびに運転管理を実施するものである。（写真①②③）</p> <p>(1) 配管設置工</p> <p>1) 右岸取水口部（φ350） L=258m</p> <p>2) 湾洞沈砂池部（φ200、φ250） L=2,081m</p> <p>3) 上工水路部（φ200） L=1,974m</p> <p>(2) 水中ポンプ設置・撤去</p> <p>1) 右岸取水口部（φ350、φ400） 36基</p> <p>(3) 嵩上げ道路設置 2箇所 L=137m</p> <p>(4) 仮設工 一式</p> <p>(5) ポンプ運転管理 一式</p>			

実施状況等



右岸取水口部 配管・ポンプ設置(写真①)



湾洞沈砂池部 配管設置(写真②)



上工水路部 配管設置(写真③)



水中ポンプ設置状況(写真④)



鋼管配管状況(写真⑤)



県道嵩上げ 覆工板設置(写真⑥)



県道嵩上げ 配管ブレ止め(写真⑦)



運搬車両荷台への昇降階段(写真⑧)



地元住民への『工事のお知らせ』(写真⑨)

【工事】

事業名	八代平野農業水利事業	表彰の理由
工事名	遥拝頭首工応急対策その2工事	<p>遥拝頭首工を改修するための仮設構造物が被災し、緊急・応急的に水中ポンプ及びサクションホースを設置し、農業用水、工業用水及び水道用水の必要水量を確実に確保することにより、地域の農業用水等をはじめとする必要な用水の取水・安定供給を確保し、地域の営農、経済活動及び生活の安定に貢献した。</p> <p>また、本工事は河川内に水中ポンプ及びホース設置（写真②③④⑤）を行う工事であることから、線状降水帯や台風による大雨に伴い、出水が予想される際には、河道阻害とならないよう河川内に設置したポンプ及びホースを河川区域外に退避させ（写真⑥⑦）、出水後は取水再開のために再設置（写真⑧⑨）を迅速に実施する必要があった。</p> <p>これらの応急対策作業は、限られた施工期間内に作業を行う必要があり、労務者を緊急的に集め休日問わずに作業を行うなど、迅速な対応がとられていた。</p> <p>さらには、緊急取水対策として、各地方農政局をはじめ、国土交通省・水資源機構の排水ポンプ車（写真⑩）の搬送、運転管理、点検整備について迅速な対応を行った。</p> <p>以上のとおり、本工事はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるので、優良工事として表彰する。</p>
実施場所	熊本県八代市古麓町地先	
工事の概要		
受注者	佐藤工業（株）九州支店	
契約額	172,502千円（税込）	
工 期	令和6年5月31日～令和7年3月14日	
遥拝頭首工からの取水の確保が困難となったため、緊急・応急的に河川から直接水中ポンプによる取水を行うためのポンプ設置および運転管理を実施するものである。（写真①）		
(1) 水中ポンプ設置・撤去工 1) 湾洞沈砂池部（φ200、φ250） 54基 2) 上工水水路部（φ200） 53基 (2) サクションホース設置・撤去 1) φ200 水平距離L=45m 54条 2) φ200 水平距離L=45m 53条 (3) 仮設工 一式 (4) ポンプ運転管理 一式 (5) 緊急取水対策 一式		

実 施 状 況 等



緊急取水対策(全景)(写真①)



水中ポンプ設置状況(写真②)



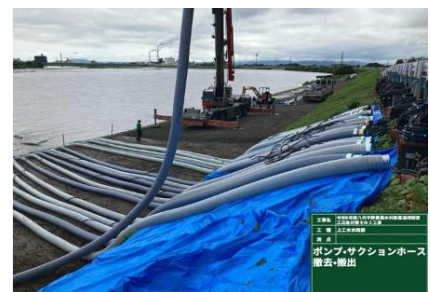
湾洞沈砂池部ホース設置(写真③)



湾洞沈砂池部 ホース設置(写真④)



上工水水路部 ホース設置(写真⑤)



降雨前 ポンプ・ホース撤去状況(写真⑥)



降雨前 ポンプ・ホース撤去完了(写真⑦)



ポンプ・ホース再設置状況(写真⑧)



ポンプ・ホース再設置完了(写真⑨)



排水ポンプ車(写真⑩)

【工事】

事業名		駅館川農地整備事業		表彰の理由	
工事名		釜ノ口3工区区画整理（その2）工事		<p>本工事は、造成面積A=約5.5ha（扱い土量V=99千m3）で、扱い土量が多く、また、土砂流出が生じやすい土質条件であったが、その現場特性を踏まえた施工を行った。</p> <p>また、災害時において地域貢献活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>本工事の土質は砂質土であるため、基盤造成の仕上げを行う時期に梅雨、線状降水帯による大雨が発生した場合、基盤表面の砂質土が流出する恐れがあるため土砂の流出対策にも苦慮する現場条件である。このため、受注者は基盤面より20cm 低い標高で砂質土を敷き均し、その上に現場内で発生した粘性土を敷き均す工夫により、表面の土砂流出を抑制する施工を行った。（写真①）</p> <p>また、台風による影響で工事現場周辺の耕作道路や住民の倉庫に被害が発生した際には、迅速に修復等の対応を行い、地域貢献活動を積極的に実施した。</p> <p>以上のとおり、本工事はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるので、優良工事として表彰する。</p>	
実施場所		大分県宇佐市安心院町松本地内			
工事の概要					
受注者		（株）末宗組			
契約額		204,600千円（税込）			
工 期		令和 6年 3月26日～令和 6年12月10日			
国営駅館川土地改良事業計画に基づき釜ノ口3工区における区画整理を行うものである。					
(1) 区画整理工 ほ場面積 A = 5.50ha 1) 造成工 V = 99,109 m3 2) 道路工 L = 830.3 m 3) 排水路工 L = 745.6 m 4) 付帯工 一式					

実施状況等

○土砂の流出防止として、表面の浸食を抑制する施工(写真①)

砂質土の敷き均し状況



粘性土の積み込み運搬状況



⇒

粘性土のMGブルドーザー整地



完 成



⇒

⇒

○台風による影響で発生した耕作道路被害の修復(写真②)

被害状況



修復完了



⇒

○隣接住民の倉庫の台風被害に対する対応協力(写真③)

被害状況



修復完了



⇒

【工事】

事業名	宇城農地整備事業	表彰の理由
工事名	浅川工区区画整理（その13）工事	
実施場所	熊本県宇城市松橋町浅川地内	
工事の概要		
受注者	(株)河崎建興	
契約額	102,168千円	
工期	令和6年10月28日～令和7年3月25日	
国営宇城土地改良事業計画に基づき浅川工区の区画整理を行うものである。		本工事の区画整理施工区域内には、民家、営農用ハウスが多数存在し、併せて既設道路と隣接するハウスとの間を通る用排水路を改修する必要があり施工及び工程管理、安全対策に苦慮する工事であった。
(1) 区画整理面積 A= 3.95ha 1) 整地工 A= 1.01ha 2) 排水路工（開水路） L= 352.8m 3) 道路工 L= 505.1m 4) 附帯工 1式		
		既設道路と隣接するハウスとの間を通る用排水路の改修にあたって、従前水路護岸と土留めを兼ねて設置されているコンクリート矢板を全て撤去することで、既設道路の崩壊や隣接するハウスの傾倒が生じるおそれがあった。受注者は、危険性を未然に回避するために、現場条件をふまえ、用排水路に使用する柵渠の規格の変更やコンクリート矢板を存置する施工方法の見直しを提案し、迅速に設計の見直しを行った。（写真①）
		また、本工事で工事用道路として使用する市道は、近隣住民の生活道及び近隣小学校等の通学路を兼ねており、交通安全に留意する必要があり、注意を促す看板やのぼり旗を所要に設置する等の注意喚起を行った。（写真②、③）
		さらに、本地域は民家、営農用ハウスが多数存在するため、工事区域内には架空線が多く存在しており、架空線事故にも留意が必要であったため、工事用車両の出入口に高さ制限を促す仮設備の設置、工事箇所における架空線下へののぼり設置等の対策を実施し、無事故で工事を完成させた。（写真④）
		以上のとおり、本工事はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるので、優良工事として表彰する。

実 施 状 況 等

現場条件を踏まえた設計確認照査(写真①)



通行注意看板（写真②）



通行注意のぼり旗（写真③）



架空線事故防止対策（写真④）

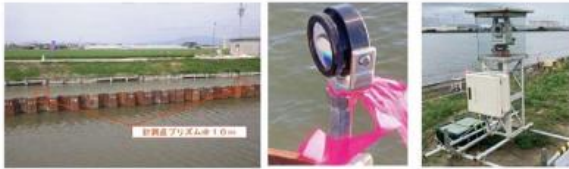
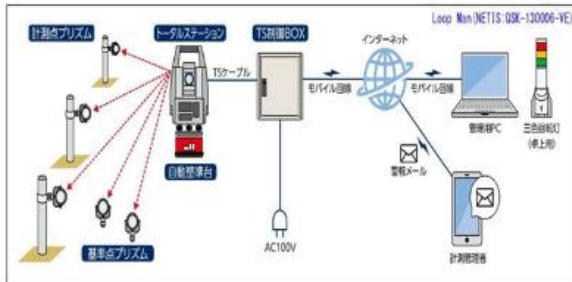


【工事】

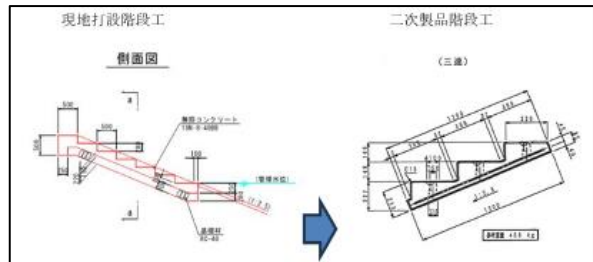
事業名	筑後川下流右岸農地防災事業	表彰の理由
工事名	南里線（小々森その3工区）水路改修工事	<p>本工事は、水路の最下流付近に位置し、施工期間中の豪雨による上流からの洪水を迂回できる水路が周囲に無いことから半川締切により工事を実施し、施工による湛水被害を発生させないように豪雨対策の検討を行う必要があった。</p> <p>仮設鋼矢板を佐賀平野特有の超軟弱地盤地帯に設置するため、鋼矢板に大きい変位が生じた場合、締切内部への浸水等が発生するおそれがあるため、締切開始から鋼矢板撤去迄の間、3次元変位システムによる24時間の定点観測・挙動監視を行い、鋼矢板の変位が管理値を超えた場合は、自動的に警報メールを現場職員に送信するシステムを採用し、作業員の安全配慮を図った。（写真①）</p> <p>また、現場打ちとして計画されていた昇降階段（1:2.5）について、メーカー側と協議し二次製品の製作を可能とし、設置工期の短縮を図った。（写真②）</p> <p>地盤改良の施工において、レーザーセンサーを用いて改良深度管理の精度の向上を図った。（写真③）</p> <p>さらに仮設歩道における歩行者の安全確保のため、安全ネット及び夜間ライトを設置し、一般通行の安全への配慮を行った。（写真④）</p> <p>以上のとおり、本工事は、その成果が特に優秀で、他の模範となるものであるので、優良工事として表彰する。</p>
実施場所	佐賀県佐賀市川副町大字小々森地内	
工事の概要		
受注者	（株）大和建設	
契約額	438,680千円（税込）	
工 期	令和 5年12月12日～令和 6年11月5日	
筑後川下流右岸土地改良事業計画に基づきクリーク法面の整備を実施するものである。		
施工延長	L=411.20m	
測 点	始点：No. 32+48.30、終点：No. 41+9.50	
護岸延長	左岸：362.40m、右岸：370.40m	
内訳	ブロックマット工 A=5,981 m ² 附帯工 1式	

実 施 状 況 等

鋼矢板変位計測(写真①)



階段の2次製品化(写真②)



仮設歩道安全対策(写真④)



レーザーセンサーによる施工管理(写真③)

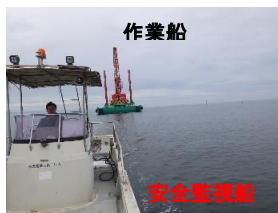


【工事】

事業名		玉名横島海岸保全事業	表彰の理由
工事名		大浜荷揚場施設撤去他その3工事	<p>本工事で実施する大浜荷揚場の撤去及び消波施設基礎設置は、潮間の限られた時間での施工が必要で、荷揚場の接岸壁の撤去に当たっては鋼矢板、鋼管杭の水中切断が必要な工事であった。</p> <p>海上施工現場周辺には漁業関係者の漁船等が頻繁に往来することから、海上事故を未然に防ぐため、海上作業時には安全監視船を配置し、陸上作業時には建設重機と作業員との接触事故を防ぐため、後方・側方を確認できる映像モニター搭載のバックホウを配備し、事故防止に努めた。（写真①、②）</p> <p>また、大型土のう製作にあたって、作業性、安全性の向上を目的に新技術の大型土のう製作治具を活用し、作業員の負担軽減を図った。（写真③）</p> <p>TS（トータルステーション）を活用した出来形管理、工事の支障となるため一時撤去していたコンポーの復旧にはGPSを用いた座標データを活用するなど、積極的にICTを活用し精度の高い施工を実施した。（写真④、⑤）</p> <p>地域周辺の雑草等による見通しの悪い道路における除草作業、周辺の営農に配慮し粉塵発生抑制のための散水を行い地域貢献に努めた。（写真⑥、⑦）</p> <p>以上のとおり、本工事はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるので、優良工事として表彰する。</p>
実施場所		熊本県玉名市横島町共栄地先、大浜町大栄地先	
工事の概要			
受注者	（株）マルコ建設		
契約額	121,220千円（税込）		
工期	令和 6年 3月14日～令和 6年10月15日		
玉名横島海岸保全事業に基づき菊池工区2の離岸堤中詰工及び大浜荷揚場施設設計画撤去を実施するものである。			
(1) 大浜荷揚場撤去 1) 大浜荷揚場施設撤去工 $V = 12,198 \text{ m}^3$			
(2) 消波施設基礎設置 1) 捨石工 $V = 1,330 \text{ m}^3$ 2) 中詰石工 $V = 1,132 \text{ m}^3$			

実 施 状 況 等

安全監視船(写真①)



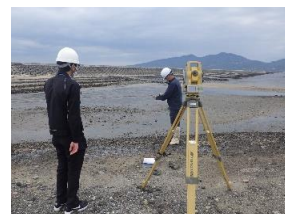
バックホウ後方・側方カメラ(写真②)



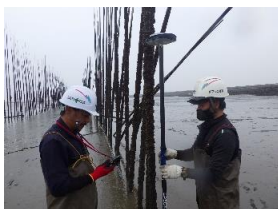
大型土のう製作(写真③)



トータルステーションによる出来形管理(写真④)



GPS座標によるコンポーの復旧(写真⑤)



周辺道路の除草(写真⑥) 散水による粉塵抑制(写真⑦)

